

「京都御苑とお豆腐狂言」

2024年6月8日(土)実施JGA第三支部研修 終了レポート

6月8日(土) 9:00～14:30、京都御苑と金剛能楽堂で表題研修が実際されました。

神奈川、愛知、大阪、京都、奈良から参加者7名（正会員6名、委員1名）。

京都御苑内の中立売休息所に時間通り集合し、簡単なお互いの自己紹介の後、京都御苑の基本情報、各見所を交代でガイドしたり、お互いの知識や情報の交換をしながら研修を行いました。参加者は京都御所を訪れるのがはじめての方、すでにガイドの経験のある方など様々でした。参加人数が少ないぶん、リラックスした雰囲気での研修は進みました。

京都御所の後は、予定どおり紫式部邸宅址、源氏物語執筆地にある廬山寺、萩で有名で、京都三名水の一つの染井のある梨木神社にも立ち寄り、狛猪や足腰の守護神で有名な護王神社も訪れました。ただ京都御所で思いの外時間がかかったため、後半はやや急ぎ足になり、昼食は急いで済ませることになりました。

午後1時から、金剛能楽堂で「お豆腐の和らい・京都公演『おとなのためにも狂言入門』」という茂山千五郎家の普及公演を鑑賞しました。最初、狂言についての解説があった後は、ノンストップで「口真似」「長光」「鶏聲」という昔からある演目が上演されました。最初の解説の時から会場から何度も笑いが起こっていて、二番目の「長光」では人間国宝の茂山七五三も登場し、最後の「鶏聲」もかなり盛り上がりを見せ公演は終了しました。金剛能楽堂はほぼ満席で、狂言という古典芸能の分野ながら、江戸時代から続く茂山千五郎家社中の人気の高さがうかがえる公演でした。

研修終了後は、京都以外からの研修参加者の皆さんは、当日整理券がタイミングよく取れたので、京都仙洞御所を参観されてから帰られたようでした。